

サラリーマン横井の活動をお伝えします

# YOKOI Report



3年目活動中です!!

奈良市議会議員の横井雄一でございます。

「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、  
小さなことから少しずつ、いつもみなさんの身近にいる  
政治家として活動してまいります。

## みなさんの声を、議会で質問しました



### ① 市民の理解を得られない手当は見直して! (12月議会)

ごみ収集の現業職員は年収が多い人で1,120万円。その内、残業などの手当だけで660万円は異常に思う。手当の内容や勤務実態を調査し、見直すべきでは。

#### 仲川市長の答え

市民感覚とかけ離れており是正が必要。特殊勤務手当など徹底的に見直す。

#### その後...

3月議会に「特殊勤務手当を50%減額する条例改正案」が出されましたが、行財政改革に反対する議員たちに否決されてしまいました。

### ② 病院に手話通訳者を配置して! (3月議会)

昨年8月「障害者基本法」が改正され、手話が言語に認められたが、市内の公の病院には手話通訳者がいない。健聴者と同じように医療チャンスを得るため、市立奈良病院に手話通訳者を配置すべきでは。

#### 病院事業課長の答え

法改正も認識しており、手話通訳者の常備配置を強く申し入れていく。

(平成24年3月22日 毎日新聞掲載)



### ③ 公務員にふさわしくない職員は厳しく処分されるべき! (3月議会)

市営住宅の家賃を滞納している職員のほか、税金や水道料金、保育料を滞納している職員がいるのでは?  
そのような職員を厳しく処分すべきでは。

#### 仲川市長の答え

税金で6名、保育料で5名の滞納職員がいる。市職員は行動規範が問われる立場であり、厳正な処分ができるかを考えている。

## ④ 市役所内に「奈良町課」を作っては! (12月議会)

観光スポットとなった奈良町。地域住民のまちづくり運動に応えるよう、観光・景観・文化財保存などの仕事を一元的に行う『奈良町課』を作ってはどうか。

### 仲川市長の答え

奈良町の観光・文化・商工・景観保持等、地域の活性化を進めるため、実施する施策を総合的に調整する仕組みが必要と考えている。

### その後...

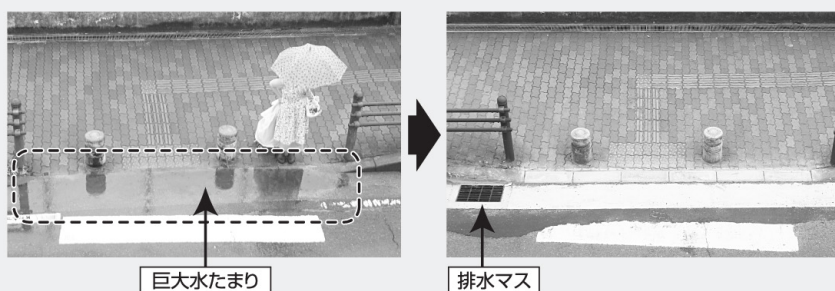
平成24年4月1日、観光経済部に「奈良町にぎわい係」が設置されました。

## ⑤ 市立奈良病院前の巨大水たまりを解決して! (5月・11月 常任委員会)

市立奈良病院前の交差点。大雨のたびにプールのような水たまりができ、とても危険。県と協力して問題を解決すべき。

### その後...

平成23年12月、排水マスが設置され、巨大水たまり問題は解決しました。



### 土木管理課長の答え

歩行者、自転車など通行者の安全のため、県に協議を持ちかけ解決したい。

## 特集! 3月議会で、行政改革案を提起しました!

### 『家庭ごみ収集の仕事を民間委託してはどうか』

横井の調査結果を発表! 「これが奈良市の実態!」

【家庭ごみの収集コスト】

	奈良市(中核市)	宇都宮市(中核市)	倉敷市(中核市)
ごみ1トンあたりの市役所のコスト	<b>40</b> 千円	<b>11</b> 千円	<b>10</b> 千円
1両あたり年間収集量	<b>491</b> トン	<b>1,131</b> トン	<b>810</b> トン
収集業務	直営(プラス一部 清美公社)	民間委託(12社)	民間委託(18社)と直営
家庭ごみの量	<b>66,786</b> トン (清美公社委託分含む)	<b>121,000</b> トン	<b>54,258</b> トン
市役所のコスト	<b>2,675,499</b> 千円 (清美公社委託分含む)	<b>1,315,815</b> 千円	<b>547,899</b> 千円
収集車両数	<b>136</b> 両	<b>107</b> 両	<b>67</b> 両
人口	367,717人	513,635人	480,397人
人口密度	1,328人/km <sup>2</sup>	1,224人/km <sup>2</sup>	1,336人/km <sup>2</sup>
世帯数	154,902世帯	213,313世帯	194,859世帯

※1. 民間業者により収集したごみの量。 ※2. 民間業者への委託料。 ※3. 民間業者の車両数。 (表中の金額、重量、車両数は平成22年度の実績)

### 横井の指摘は

- 奈良市は職員による直営。だが、先進市は民間委託が当たり前。
- ごみ1トンのコスト。奈良市は4万円、先進市は1万円。
- 先進市のように民間に委託すると、必要な税金は4分の1で済む。



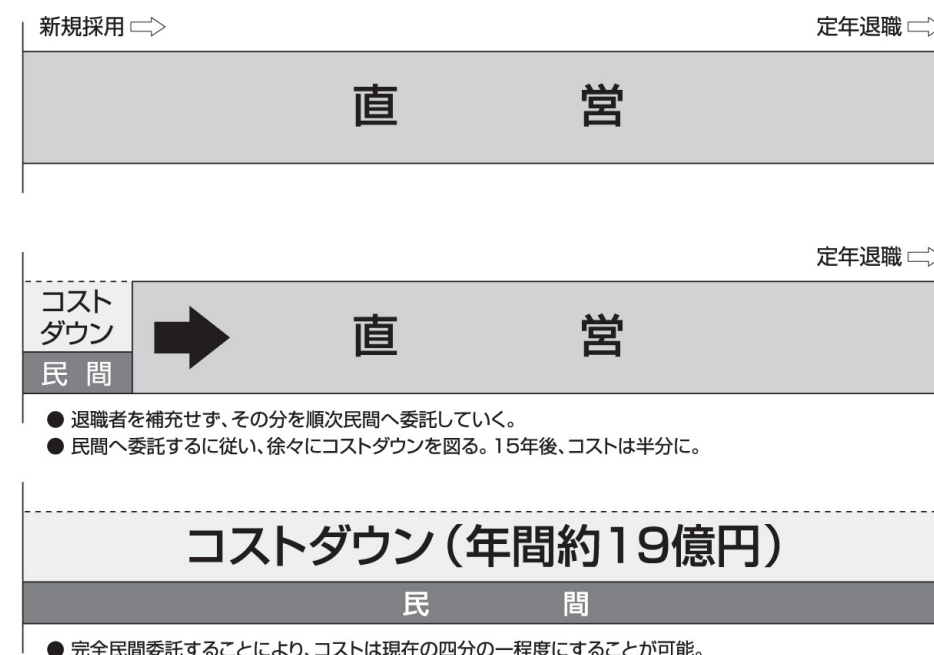
次に、解決方法を提起! 「このように民間委託を!」

現在のやり方  
**26.7億円**

徐々に民間へ

民間委託化  
**7億円**

【家庭ごみ収集業務を民間委託し、コストダウン】



横井の基本的な考え方は

- 退職者を補充せず、その分を少しずつ民間へ委託していく。
- 年数はかかるが確実にコストダウンでき、ムリがない。
- 民間委託後、年間19億円の税金を他に必要な行政サービスに使える。



そして、仲川市長の答えは、

民間委託方式が直営方式よりもコストの削減を図ることができるとわかった。今後、民間委託を拡大していく方向で検討する。そして、その方向性が見えてきた。職員数の自然減に合わせて段階的に民間委託を進めてまいりたい。

★市長は民間委託化を進めると約束しました。  
私は最後に、私たちの税金の使い方を改めていただきたい、と締めくくりました。

これまでの取り組みの成果が出てきました。

人事評価制度のスタートに向け、研修が始まります!

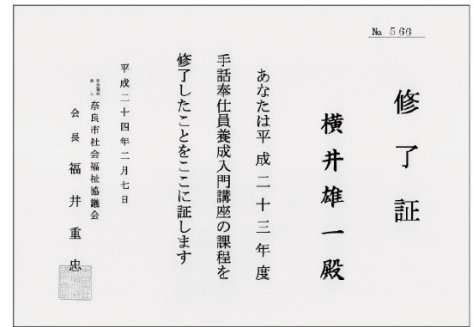
就任以来、導入するよう発言してきました。24年度は評価する立場の職員が評価の仕方等を研修します。25年度に試行して、26年度に本格導入する予定です。



# よこいくんの取り組み

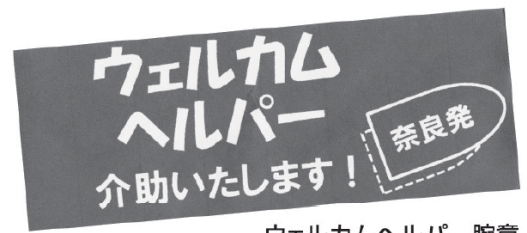
## 手話奉仕員養成入門講座を修了しました!

昨年6月から受講していた講座は2月に修了できました。  
講座では、病院で医師に病状が伝わりにくいといったろう者のご苦勞を知りました。24回にわたる講座は、受講生のみなさんと一緒に楽しみながら手話を学ぶことができました。担当して下さったろう者や総合福祉センター等スタッフの方に感謝しています。  
4月から、手話サークルに入会して活動しています。



## ウェルカムヘルパーが始動します。

5月3日から6日にかけて、平城宮跡にて開催される「平城京天平祭」で活動デビューします。スタッフが腕章をつけて会場を歩き、ご要望があれば介助活動を行います。もちろん私も。



ウェルカムヘルパー腕章

### 「ウェルカムヘルパー」とは…

介護が必要な人も介護をする人も奈良旅行を楽しんでほしいと思います。介護を必要とする人とご家族が奈良を旅行される際、介助が必要な場面でお手伝いするおもてなしのエキスパート。それがウェルカムヘルパーです。

## 東日本大震災 被災地の支援活動

### 23年11月、いわき市へ

昨年11月の終わりに、福島県いわき市を訪れました。  
海岸沿いの町は津波の被害を受け、福島第一原子力発電所の警戒区域内に入っている市町村は人が住むことさえできない地域があります。  
準警戒区域にある広野町を訪れましたが、人口5千人の町なのに500人しか住んでいないらしく、人けを感じない町になっていました。



(福島県いわき市久ノ浜海岸)

### 24年2月、「奈良ボランティアバスネット」結成へ

昨年5月に宮城県気仙沼市で、奈良市災害支援ボランティアとして活動した100人で、「奈良ボランティアバスネット」を結成しました。被災地での活動経験を活かして、息長く、被災地の支援活動をするグループです。

遠く離れていても、被災地を支援する活動をしていきたいと思ひます。

みなさんのところへ、出かけて行きます!

政治のことをわかりやすくお話しします。それが、横井雄一の「出前トーク」です。



よこいくん

横井雄一の電話番号 **まずは、お電話ください!**

いこくわ よこいくん

**090-1598-4519** まで